

平成 28 年度学会・医会協議会常任委員会議事録

日時：平成 28 年 5 月 18 日（水） 12：30～13：30

場所：：名古屋マリオットアソシアホテル 16F「サルビア」

出席者：久 育男会長。小川 郁、原 晃、伊藤壽一、大森孝一、黒野祐一、新川秀一、高橋 姿、吉原俊雄、浅井英世、今井昭雄、小松崎 篤、小森 貴、前田太郎、塩谷彰浩、藤岡 治、吉村 理、坂口文雄、小山賢吾、松岡秀樹、山下裕司、高石 司、福與和正各委員。

猪原秀典、香取幸夫各幹事。

欠席者：上村卓也、鈴木 衛、阿部 隆各委員。

司会者：原 晃委員、福與和正委員。

会長挨拶

協議事項

1. 提案議題について

下記の各地区ブロックより提案された議題について審議した。

1) 近畿ブロック

①耳鼻咽喉科関連各学会における専門医共通講習、耳鼻咽喉科領域講習の開催およびその周知について

11 月開催予定の学会・医会協議会の議題とすることとした。

②保険医療委員会全国会議での講師の発言について

近畿ブロックの松岡秀樹委員より、平成 28 年 1 月の保険医療委員会全国会議の講演において講師を担当した日本医師会常任理事から「診療報酬改定などの際、疑義が生じた場合に、耳鼻咽喉科では対応する窓口がはっきりしていない」との発言があり、その対応に関して提案がなされた。

これに対し、診療報酬改定などの際に疑義が生じた場合には、日耳鼻保険医療委員会で対応していることを確認した。

2) 北海道ブロック

内科や眼科のように製薬会社や健康保険組合連合会などとタイアップできないか

これに対し、学会のプレゼンスを示すという意味では重要であるといった意見、ならびに高額なコストがかかることから費用対効果の問題が生じるといった意見が出された。学会単体での実施は難しく業界の支援が必要であること、また地方部会や医会レベルでの日常の啓発活動がより重要であるとの意見も挙げられた。